

関連法規等
・日本国憲法 ・学校教育法 ・学習指導要領 ・しまね教育魅力化ビジョン
生徒の実態
純朴で素直な生徒である。堅実であり、誠実である。礼儀やマナーも身につけている。やや控え目なところが、物足りないところである。
保護者の願い
人との関わりを学び、学校生活を楽しく有意義に過ごしてほしい。自分に合った進路を見つけ、自立して生きることができるようになってほしい。

各教科・科目	
国語	様々な文章を読み、新しい知識や考え方を知ることで、自己と他者、社会について主体的に考える力を育成する。
地歴公民	生活、文化、歴史についての理解と認識を深め、人間としての在り方生き方を考える力を育成する。
数学	数学的な論拠に基づいた論理的な思考による公正な判断力を育成する。
理科	自然への関心、探究心を高め、科学的な思考力、合理的な判断力を育成する。
保健体育	運動等を通して、集団活動における主体的な態度を育み、心身の健全な発達と自他を尊重する態度を育成する。
芸術	創造的な表現や鑑賞活動によって、感性を高め、豊かな情操を育成する。
外国語	外国の人々や文化を大切にする友愛の心を持ち、国際的な視野に立って自国の文化を発信できる力を育成する。
家庭	生活と社会との関わりを認識し、生活者として自立し、社会に参画する態度を育成する。
情報	情報を活用する能力を養うとともに、情報社会において適正に活動するための情報モラルを育成する。
商業	ビジネスの基礎基本を習得、理解し、職業人としての規範意識や倫理観を育成する。
総合的な探究の時間	発見し、設定した課題について考察し、仲間とともに研究をまとめ発表することで、課題解決能力とプレゼンテーション能力を育成する。
生命地域学	地域をフィールドとする学びや異年齢の人々との交流を通して、地域への誇りを育むとともに、社会人として必要な会話力、マナー、コミュニケーション能力等を高める。

令和5年度 道徳教育全体計画（案）

校訓	
自律	友愛 進取 創造
教育目標	
・自らの人生を主体的に切り拓いていく力を育成する。 ・活力ある地域・社会づくりに貢献できる人材を育成する。	
目指す生徒像・学校像・教師像	
・基礎・基本を身につけ、自ら考え、正しく判断し、連携・協働できる生徒 ・自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることのできる生徒 ・着実な努力を基盤としつつ、何事にも積極的に取り組む生徒 ・地域のすばらしさを理解し、みらいを創造できる生徒 ・地域に愛され、地域に貢献し、地域とともに発展する学校 ・生徒が自分らしさを発見し、それを伸ばすことができる学校 ・常に現状の振り返りと改善に努め、協働的に粘り強く取り組む学校 ・人権感覚を磨き、常に教師力の向上に努める教師 ・生徒理解を深め、生徒の力を伸ばす教師 ・地域を知り、地域と連携して生徒を育てる教師	
道徳教育重点目標	
地域を大切に思い、心豊かで自立した、活力ある地域・社会づくりに貢献できる生徒を育成する。	

各学年の重点目標		
1 学年	2 学年	3 学年
・高校生としての基本的生活習慣を確立させる。 ・自己や他者を思いやり、何事にも協力して取り組む態度を育み、身に付けさせる。 ・様々な行事を通して、地域社会の一員であることの自覚を持たせる。 ・個性の多様性を認め合い一人ひとりを尊重する心を育てる。	・お互いに個々を認め合い、高め合おうとする集団を育成する。 ・相手や周囲の気持ちを思いやり、気になる言動はお互いに注意でき、協力して物事に取り組む態度を育成する。 ・地域・社会における自分の役割やつながりを考え、地域・社会の一員である自覚を持たせる。	・自他を大切にする豊かな心を育み、人権課題を自らのこととして解決しようとする態度を養う。 ・地域・社会に愛着を持って活動に積極的に参加し、課題を発見し解決策を考え、地域・社会の発展に貢献する力を育てる。

飯南地域中高一貫教育で目指す生徒像		
飯南町のすばらしさを理解し、確かな学力を含む人間力を身につけ、他者と協働して、みらいを創造できる生徒		
学力の保障と個別対応	生命地域教育	特色ある教育活動
中学校で身に付けた基礎学力を踏まえ、生徒一人ひとりに応じたきめ細かい指導・支援を行い、学力向上・進路目標の実現に努める。	「生命地域宣言」をしている飯南町の資源を有効に活用し、他者と関わる力、自身や地域のみらいを描く力、他に発信する力を育成する。	校種をこえた集団活動を通して、広い視野に立って協調や奉仕の心を育て、マナーや技能の向上を目指す。
・教育課程の相互理解 ・連携授業、授業互見 ・習熟度別少人数指導 ・内定者課題	・中高 R54 ボランティア清掃 ・キャリアパスポート ・ふるさとシンポジウム ・飯南ジョブフェア	・生徒会交流 ・部活動交流

地域の願い	「しまねのふるまい」の向上・定着に関わる具体的取組
多くの住民は、地域唯一の高等学校である本校に多大な期待を寄せている。また、地域住民には、本校の教育活動は地域が支えているとの自負があり、地域の高等学校として本校の果たす役割は、重要である。	①生徒会生活委員会による「あいさつ運動」の実施 ②身だしなみ指導 ③中高 R54 ボランティア清掃（小中高連携した取組） ④バス停掃除 ⑤有志による朝掃除、雪かきボランティア ⑥生命地域学に関わる校外での体験学習

校務分掌の目標	
1	自らを律する態度を育て、規範意識の向上を図る。
2	生徒一人ひとりの人権が尊重され、安心して学ぶことのできる環境づくりをめざす。
3	生徒会活動・部活動・特別活動を活性化し、生徒の主体的な活動を促進する。
4	健康に対する基礎知識を身につけ、心身ともに安心して学校生活を送ることができる環境をつくる。
5	地域のヒト・モノ・コトを活かした飯南型キャリア教育を推進し、自らの人生を主体的に切り拓く力を育成する。
6	進路学習を通して自らの将来を主体的に考える姿勢や職業観・労働観を育成する。
7	国際交流体験や郷土の伝統文化体験を通して、積極的に異文化を理解し交流しようとする態度を育成する。
特別活動	
H R 活動	自己の立場と他者の立場とを自覚しつつ、他者及び集団に関わる好ましい態度を育成する。
生徒会活動	集団の一員としての自己を自覚し、集団に寄与すべく自ら進んで行動することのできる態度を育てる。
学校行事	異校種・地域と連携した体験的な活動を促進し、生徒一人ひとりの集団への帰属意識や自己肯定感を高める。また交流体験活動を通して、異文化理解を深める。